

## 水資源機構吉野川局管内ISO 14001認証取得の取り組みについて

吉野川は、四国のみなさまの暮らしを古くから支え育んでいる大切な河川です。私たち水資源機構は、吉野川水系において四国のいのち「早明浦ダム」に代表される7つの施設を管理しています。

それぞれの施設は、四国のみなさまの普段の暮らしに欠かせない大切な水資源を確保し供給するとともに、流域の皆様の暮らしを守るため、台風などの大雨により毎年のように襲い来る洪水に対処しています。

### 水資源機構吉野川局管内で管理する7つの施設

早明浦ダム（高知県） 高知分水（高知県） 池田ダム（徳島県）  
新宮ダム（愛媛県） 富郷ダム（愛媛県） 旧吉野川河口堰（徳島県）  
香川用水（香川県）

また、各施設の管理においては、環境への配慮、環境保全への社会的な意識向上、環境保全に関する要請の高まりに応えるため、ダム湖に流入する流木のチップ化による再利用、水源地域と利水者との交流や地域の河川清掃活動への参画による環境意識向上等により、これまで独自に環境保全のための取り組みを行ってまいりましたが、今後は、さらにより質の高い取り組みと職員一人ひとりの環境意識の一層の向上を図るため、国際規格ISO 14001に基づく環境マネジメントシステムを導入し、認証取得に向け取り組みを進めることとしました。

ISO 14001は、環境負荷の低減を着実に実施するための環境マネジメントシステムの構築で要求される国際規格であり、これに基づいた環境への配慮や取り組みを行うことにより、次のような効果が期待されます。

- ① 環境負荷の低減
- ② 環境リスクの低減
- ③ 社会からの信頼の獲得
- ④ 職員の環境に対する意識、モラルの向上
- ⑤ 環境に係るコストの縮減

水資源機構吉野川局管内の各施設で働く私たちは、国際規格ISO 14001に基づく環境マネジメントシステムの取り組みを継続して行い、良好な施設管理とより一層の環境保全を図り、利水者の皆様や吉野川流域の皆様の期待に応えるよう努力してまいります。

平成23年5月25日

独立行政法人水資源機構

吉野川局長 藤田 乾一

## 吉野川局管内環境マネジメントシステム

# 環境基本方針

### 1. 環境保全に配慮した取り組みを総合的に推進します。

省資源、省エネルギー、リサイクルなどの環境負荷を低減するための取り組みや環境保全に配慮した設計、施工、管理を実現するための取り組みを総合的に推進します。

### 2. 職員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組みます。

環境教育などを通じて、環境に対する意識と知識の向上を図り、職員一人ひとりが積極的に環境保全に取り組みます。

### 3. 環境関連の法令等を遵守します。

環境汚染を防止し、良好な環境の保全や創出を図るため、環境関連の法令等や当機構が定めた指針を遵守します。

### 4. 環境情報を積極的に発信します。

環境保全に配慮した取り組みや環境に関わる情報を、積極的に公表します。  
また、この環境方針は、吉野川局管内の全職員に周知するとともに、一般に公表します。